

- 1年次： 地域課題解決（グループ探究）
- 2年次： キャリアデザイン（個人探究）
- 3年次： 自己進路実現（志望理由書作成）

日本文理高等学校教育目標

- ・個性の伸長を図るとともに、心豊かで調和のとれた人間を育成する。
- ・確かな学力を身につけ、一人ひとりの進路希望実現を図る。
- ・心身を鍛え、健康な身体と不屈の精神を培う。
- ・生徒の自主的な活動を推進し、互いに協力し、自ら考えて行動する資質・能力を培う。

特進コース	新潟大学ボランティア開発論ゼミに参加。大学生と共にローカル・グローバルな課題を探究する。
進学コース	新潟市の抱える今日的な課題と未来に向けて外部機関(企業・市役所)の協力得て探究する。
総合コース	「西区らしさとは」を切り口に西区役所が運営するSNSの記事を作成・発信し地域課題を探究する。

6月



**探究学習
ガイダンス**

探究学習の概要の説明を行い、「なぜ探究学習が必要なのか」を学びます。

7月



探究学習出前講座

3つのコースに分かれ、市役所職員や企業の方から講話を聴きます。地域、企業の抱える課題などの講話を聴きます。

8月



フィールドワーク

全員がフィールドワークを行います。各班で複数個所を訪問しICTを活用し成果の共有や安否確認を行います。

探究学習の評価に関してはルーブリックを作成し評価の観点やポイントを説明

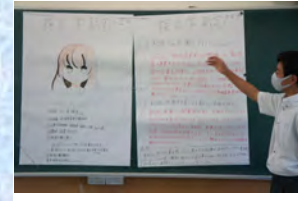
9~10月



**探究学習本格化
プレゼン資料作成①**

フィールドワークで得た情報から、仮説を立て、課題解決への話し合いを深め、プレゼン資料を作成します。

11月




中間発表会

これまでの探究学習の経過を発表します。同時に生徒同士による相互評価も行い次回の発表に生かします。

自分のやりたいテーマではないと感じる生徒もいます。2年次は自分の興味関心を思いっきり探究できる個人探究です。情報の集め方、探究の進め方、課題に対して想像する力、他者との協働、学校外の人との関わり方を学ぶ機会として1年次は学びます。


12月~



プレゼン資料作成②

生徒からの評価や外部アドバイザーの指導助言を受けて、追加のフィールドワークやアンケートなども追加し探究の深化を図る。

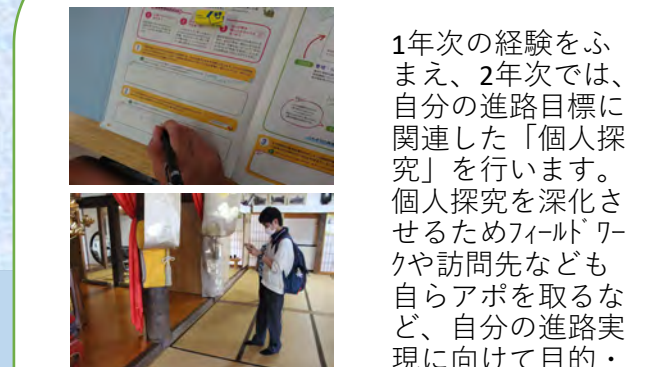
3月



成果発表 相互評価・自己評価

1年間進めてきた探究学習の最終発表です。各班の中間発表からの成長の跡が見られます。Classiのアンケート機能を使い相互評価を行います。また、各自もこれまでの探究の成果を振り返ります。

2年 個人探究



1年次の経験をふまえ、2年次では、自分の進路目標に関連した「個人探究」を行います。個人探究を深化させるためフィールドワークや訪問先なども自らアポを取るなど、自分の進路実現に向けて目的・課題意識をもって活動します。その過程で進路志望理由をまとめ、3月にはその成果を志望校宣言として保護者面談でプレゼンします。

4月~探究テーマ設定
7月 志望理由導入講座
8月~情報の整理①
(自己・学校・企業)
10月~情報の整理②
1月~志望理由の文章化
3月 志望校宣言


探究活動に向けて

- 「持続可能」な計画であること
- 「外部機関」との協力関係の構築
- 「評価」や「振り返り」の効果的実施

- ・教員だけの指導で完結させない体制の構築
- ・生徒同士の学び合い
- ・外部講師の温かい指導

「探究学習」でのICT活用①

GoogleクラスルームやClassiのグループ機能を使いグループでの情報の共有・他メンバーの活動の把握などデータを可視化。また外部アドバイザーにも所属してもらい定期的に指導助言をいただく。



「探究学習」でのICT活用②

探究活動に対しての生徒同士の相互評価や自身の振り返りを行い「ポートフォリオ」として活動経歴や成長の軌跡をデータとして蓄積する。

